



① 起筆は蔵鋒(穂先を包みこむように入れる)
 ② 横画縦画を一ヶ所長く、伸びやかに(筆圧の暖急など)
 ③ 細く強い線は穂先を利かせる



情を養うの書は最も古し
 薬草の深山にあるが如く、
 心を養うの書は古いものほどよい
 (姚合)

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の
 倣書で書いています。
 書は行書の筆意を帯びた楷書。
 点画の間は軽妙な細い線で、
 ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。